

azbil

「高圧ガス保安協会」検定合格品
品名 カナリヤ KTS-P105
KTS-P105D
型式 YF-005N
YF-005N(D)

カナリヤ

取扱説明書(保証書付)

LPガス警報器「カナリヤ」をお取付けいただきありがとうございます。この取扱説明書では、LPガス警報器「カナリヤ」の取扱説明書を説明しています。ご使用になる前に、必ずお読みいただき正しくお取扱いください。本取扱説明書は、取付け後もお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。

●この警報器はLPガスを検知して警報を発するLPガスの爆発事故防止用の警報器です。ガスもれの未然防止やガスもれによる損害防止を保障する装置ではありません。

●不完全燃焼及び酸素欠乏による中毒防止用ではありません。

●本書を紛失された場合は、販売店までお問い合わせください。

**もくじ**

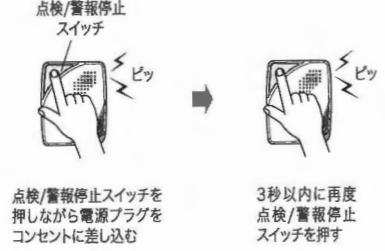
1. 使用上の注意	1
2. 各部の名称とはたらき	3
3. 警報器の機能について	5
4. 使用方法と作動説明	10
5. 警報音が「鳴った」ときの処置	11
6. 点検方法	13
7. 異常と思った場合の処置	15
8. 保証	15
9. 仕様	16
10. 廃棄処理について	17
11. 取扱位置	18
12. 取扱方法	19

- 1 -

(交換期限切れお知らせ機能を解除することもできます)

①点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。
受付音が「ピッ」と鳴ります。
②3秒以内にもう一度、点検/警報停止スイッチを押してください。
受付音が「ピッ」と鳴ります。
③電源プラグを差し込んでから3秒後に白(電源/常夜灯)ランプが2回点滅し、交換期限切れお知らせ機能が解除されます。

※出荷時は交換期限切れお知らせ機能の設定は「あり」となっています。
※交換期限切れお知らせ機能の切替は何度も可能ですが、お客様自身で交換期限切れお知らせ機能を解除された場合は、お求めの販売店に解除の旨をお伝えください。
※長時間コンセントが抜かれていた場合、交換期限切れお知らせ時間が延びることがあります。



販売店名

(連絡先・住所・電話・FAXなどを記入してください)

発売元：アズビル金門株式会社

本社：〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号(西新宿三井ビルディング)
電話番号：(03)6298-5330

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
786831-7-221

■警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ**1. 使用上の注意**

警報器を正しく使用していただきためや、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、この取扱説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- △危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることがあります。
- △警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
- △注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
- △警告 電源プラグは時々お手入れしてください。
たまたまホコリに湿気が加わり、発火・焼損の恐れがあります。電源プラグのゴミやホコリは乾いた布で取除いてください。
- △注意 警報器以外の電化製品を接続する場合は、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
感電・ショート・発火・破損の恐れがあります。

△警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。



- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。
- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。
警報しなかったり、警報遅れの原因となります。
- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

【予備コンセント付電源プラグを使用する場合】

警報器以外の電気製品を同時に使用する場合は、警報器のプラグに付属している予備コンセントをご利用ください。
※警報器の型式によっては予備コンセントが無いタイプもあります。

詳しくは、「9.仕様」を参照してください。

△ 警告

- △ 接続した他の電気製品のプラグを抜く時は、大きな力をかけないでください。
プラグ部が破損する場合があります。

- △ 1490Wを超える電気製品を接続しないでください。
1490Wを超えると火災の恐れがあります。

- △ 予備コンセントにケギヤビンなどの異物を差し込んでください。
感電や火災の原因となります。

- △ 注意 電源プラグは時々お手入れしてください。
たまたまホコリに湿気が加わり、発火・焼損の恐れがあります。

- △ 警報器以外の電化製品を接続する場合は、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
感電・ショート・発火・破損の恐れがあります。

- △ 警報音が「鳴った」ときの処置

- △ お願い 転居する場合は、必ず販売店に連絡し、警報器の扱いについて確認してください。

△ 注意

- △ この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。

- △ 電源コードが傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。

- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 注意

- △ この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。

- △ 電源コードが傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。

- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 注意

- △ この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。

- △ 電源コードが傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。

- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 注意

- △ この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。

- △ 電源コードが傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。

- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 注意

- △ この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。

- △ 電源コードが傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。

- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 注意

- △ この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。

- △ 電源コードが傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。

- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 注意

- △ この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。

- △ 電源コードが傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。

- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 注意

- △ この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。

- △ 電源コードが傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

△ 警告

- △ 分解や改造はしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。

- △ 電源コードを傷つけたり、重い物を置かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- △ ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。

- △ 落下せたり、衝撃を加えないでください。
故障の原因となります。

<b

4. 使用方法と作動説明

4-1 始動

警報器の電源プラグをコンセントに差し込む。
②3秒後に白(電源/常夜灯)ランプが1回もしくは2回点滅する。
交換期限切れお知らせ機能の設定を表示します。
③交換期限切れお知らせ機能の設定表示後、監視状態に入る。
(注意)
※警報器の周囲にガスが存在していた場合や長期間通電しないまま放置されていた場合などには、電源投入後鳴動することがあります。
※電源投入後、1分たっても鳴りやまなければ故障が考えられますので、お求めの販売店に連絡してください。

4-2 ガスもれを検知した場合

①もれたガスの濃度が警報設定値(LPガスの爆発下限界の1/100～1/4)に達すると、赤(警報)ランプが点滅し、警報音が鳴り始めます。

②ガスが警報設定値以下になると警報音が鳴りやんと白(電源/常夜灯)ランプが点灯し監視状態に戻ります。



5. 警報音が“鳴った”ときの処置

5-1 ガスもれにより警報音が鳴った場合

警報音が鳴り、赤(警報)ランプが点滅している場合は、次の手順で処置してください。

①ガス栓や器具栓を閉める。

燃焼器具のガス栓や器具栓を閉め、ガスの元栓を閉めてください。

②窓を開けて換気する。

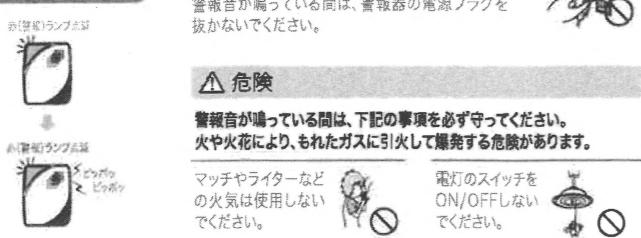
窓やドアを開けて自然換気してください。ガスが無くなれば、警報音が停止します。

③販売店に連絡する。

警報音が鳴りやまない場合は、ただちに販売店に連絡してください。

おねがい

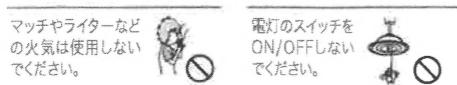
警報音が鳴っている間は、警報器の電源プラグを抜かないでください。



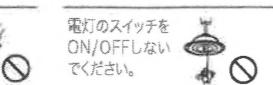
△ 危険

警報音が鳴っている間は、下記の事項を必ず守ってください。
火や火花により、もれたガスに引火して爆発する危険があります。

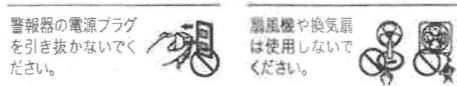
マッチやライターなどの火気は使用しないでください。



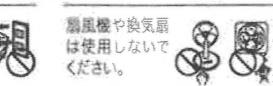
電灯のスイッチをON/OFFしないでください。



警報器の電源プラグを引き抜かないでください。



扇風機や換気扇は使用しないでください。



5-2 ガスもれが無いのに警報音が鳴った場合

スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどで警報音が鳴り、赤(警報)ランプが点滅している場合は、次の手順で処置してください。

①窓を開けて換気する。

窓やドアを開けて自然換気してください。

②警報器周囲のガス濃度が規定値以下になると赤(警報)ランプの点滅や警報音が止まる。

※警報の原因が分かっている場合は、電源プラグを抜かずに点検/警報停止スイッチを押してください。約1分間警報音を停止することができます。

※赤(警報)ランプの点滅は止まりません。

※ガスをかけすぎた場合など、警報音を早く停止させたい場合は、作動点検確認後、点検/警報停止スイッチを押してください。

警報音を約1分間停止することができます。

※1ヶ月に一度、点検ガスによる作動点検を行ってください。

点検するにあたっては、販売店に相談のうえ実施してください。

△ 注意

①点検ガスは揮発性ですから、ご使用後は「バチッ」と音がするまでキャップをかたく閉めてください。

②点検ガス容器内の固形物が無くなりましたら販売店よりお買い求めください。

この場合は再度点検/警報停止スイッチを押しても警報音は止まりません。

